



十三中だより

令和6年12月2日（月） 12月号

校長 吉田 祐一

自ら考え行動できる 前向きに努力できる 心を大切にできる

1年をじっくり振り返り、調整をする時期です

長いと思っていた2学期も最終月を迎えました。このところ春と秋の期間が短くな
ったように感じます。季節の移ろいを感じながらゆっくりと生活する気持ちの余裕がな
くなってきたように思うのは私だけでしょうか。ついこの間まで、「暑い」という言葉
を発していたかと思うと、最近では「寒い」と言っている回数が増え、めっきり寒くなっ
てきました。この急激な変化がより一層、年末の気忙しさに拍車をかけてしまいます。

そんな風だけに、あえて気持ちを落ち着けて、1年を振り返ってみたいものです。春
に、自身で決めた目標があったと思います。その立てた目標にどれくらい近づくことが
できたのか。目標を達成するために残りの4カ月でどう調整をしていくのかを考える
気持ちの余裕と時間をあえて作ってください。ただ何となく、周囲のあわただしさに埋
もれて一日一日を過ごしてしまうと、気がつけば「また、やってしまった」と同じこと
の繰り返しになってしまいます。もちろんしっかりと過ごすことができている人はその
調子で進んでください。「今の自分が本当にめざしていた状態なのだろうか」と感じて
いる人は、ちょっと違った力を加えて調整してみてください。そんな12月にしてみま
しょう。

しんろせんたく んぎ むきょういくさいしゅうねん いちばん

進路選択は義務教育最終年の一番のイベント

先週末、期末テストが終了しました。これで今学期の成績が出そろったことになり
ます。あとは、提出物が滞りなくかつ十分な形で提出できているかです。3年生
は、その結果をもとに11日（水）から始まる進路懇談で進路を決定していきます。志望
する学校をしっかりと調べましたか。オープンスクールや学校説明会には参加しまし
たか。私立高校にしる公立高校にしる、学校の難易度だけで決めるのではなく、その学校の
特徴を分かっただけで、進路選択は、自分の目標だけではなく、夢や目的に近づけるた
めの選び方をする必要があります。もちろん家族の人の考えを聞き、思いも知り、そし
て、担任の話も聞く。そういった情報をもとに、自分の考えや思いを伝え、進路選択
してください。そして、大切なことは、最終は自分で決定し、自分で決めたことに言い
訳をしない覚悟で臨んでください。